

**専門学校 穴吹福祉医療カレッジ
専門学校 穴吹デザインビューティカレッジ
専門学校 穴吹情報公務員カレッジ**

2012年 6月号

学園新聞

穴吹カレッジ学園新聞編集委員会
<http://www.anabuki.ac.jp/>
〒770-0852 徳島市徳島町2-20
TEL: (088)653-3155
FAX: (088)653-3169

anabuki

入学式式辞 (平成24年4月10日)

専門学校穴吹デザインビューティカレッジ

校長 吉田一紀

「眉のごと雲井に見ゆる阿波の山」と、万葉集にも歌われている眉山が桜色一色に輝く本日のよき日、ご来賓をはじめ、役員の方々、保護者各位のご臨席のもと、平成24年度専門学校穴吹福祉医療カレッジ、専門学校穴吹デザインビューティカレッジ、および専門学校穴吹情報公務員カレッジ三校の合同入学式がこのように盛大に挙行されますことは、入学生はもとより、教職員一同にとりましても、この上ない喜びとするところであります。

ただいま入学を許可しました261名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員・在校生一同は、皆さんを心から歓迎いたします。

皆さんが本校に入学した動機や目標は、それぞれに異なりますが、高い志を持ち、決意を新たにして、この席に望んでいると思います。本校在学中に、それぞれが掲げた目標に向かって真剣に努力されることを念願いたします。

本校の校訓は、「日々是前進」であります。これは、本校学生の心構えとして、自分の将来に対し夢や目標を持ち、その実現に向って、日々、地道な努力を惜しまず全力を出し切ることを教えています。必死に努力し挑戦しても失敗することや悔しい思いをすることもあります。困難さや苦しさに負けて挫折したいこともあります。しかし、失敗や苦しさから学ぶものが多いのも真実であります。どんな状況にあっても自分を信じ、夢や目標に向って前進し、努力を続けることが大切であります。入学してからは、この校訓をバイブルとして、日々の学校生活を充実させ、夢や目標の実現に向かって、常にチャレンジを続ける学生にならることを希望します。

また、本校のキャッチフレーズは「好きを極めてプロになる」であります。自分の好きなこと、得意なことを専門的に学び、将来、実社会において活躍できるプロフェッショナルになることであります。

入学にあたり、プロになるために心掛

けていただきたいことを三つ申し上げたいと思います。

まず一つ目は、「素直な心」を持って物事に対処していただきたいということです。すでにプロとして活躍している卒業生の体験から、プロフェッショナルになる道のりは、そう簡単なものでないことは想像できます。毎日、基礎・基本的訓練の繰り返しや人間関係構築の修業が続きます。オーナーや先輩からは、ほんの初步的なことで注意を受けたり叱られたりします。そんな時、いつも「素直な心」を持って、先輩の注意や指導に素直に従い、まじめに仕事に励むことが大切であります。「素直な心」を持っていないと、先生や先輩の指導に素直に対処できなくなるばかりか、愚痴や口返事をついつい言ってしまいがちになります。そんなことが長く続くと、技術面、精神面での大事なことを教えてもらえないなり、仕事に身が入らずプロへの道を断念することになってしまいます。

二つ目は、自分で考え、判断する人間になっていただきたいことあります。本日、入学された諸君の中には、将来に対する明確な目標はないが取りあえず資格を取るために入学した人もいると思います。在学中の資格取得や様々な学問をとおして、自分の将来の職業、或は自分の人生設計について考えることが大事であります。この資格取得について考えさせられることを話します。ある学生が志望した企業の入社試験面接を受けたとき、こんな質問を受けました。「あなたは在学中、21件もの多くの資格を取得されていますが、この中で一番使いたい資格は何ですか」と、聞かれたとき、その学生は明快に回答することができませんでした。志望の動機は、はっきりと云えたのに、それにつながる資格についての考えが及ばなかったのが原因でした。つまり、資格取得が学習の目的になりすぎ、その資格を使って、将来どんな職業につき、どんな人生を歩みたいという本来の目的を忘れてしまったことに尽きます。まさ

に本末転倒であります。このためには日常から自分で考え、判断する習慣を身に付けることが最も大切であります。

三つ目は氾濫する情報に振り回されないようにすることです。現代は情報化社会と呼ばれ、IT技術を上手に使いこなすことの出来る人材が求められています。しかし、IT技術による利便性や効率性の向上と裏腹に、個人情報の漏洩、ネット詐欺など、ネットを通した犯罪も増加しています。これを防ぐためには、氾濫する情報の中でその良否を的確に判断し、選別できる能力が求められています。ネットから得られる一般情報および、レビュー、ツイッターをはじめ、ネット相談などのコミュニケーション情報は、一応、疑ってかかるくらいの用心深さが必要であります。たとえば、個人

がネットで商品を購入する場合、購入の決め手となるのが、すでに購入した人の評価レビューといわれています。これを点数評価しておくと高い点数の商品がよく売れるという具合です。しかし、一見理屈に合っているように見えますが、大変、恐いことがあります。評価データは信頼できるのか、他人

の判断のみで意思決定していいのかなど、自分で考えない判断しないクセを知らず知らずに身に付けてしまう危険性があるからであります。

さらに、ネットで得た知識や情報だけでわかった振りをして体験や実際行動をしない、他人との実際の会話を望まない人々の増加など、多くの問題が持ち上がっています。このためには、皆さんは、ネットでのコミュニケーションだけに頼らず、実際に自分の発する言葉を通して会話し、多くの友人と交わり、お互いの人格を尊重し、高めあうことが学園生活での果たすべき義務だと思います。

最後に、入学されました新入生一人一人の学園生活が充実したものとなり、社会で活躍できる基礎・基本が確立されますことを祈念し、式辞といたします。



保護者会会長挨拶

穴吹学園保護者会
会長 松原寿江



この度、平成24年度保護者会会長に就任するにあたり、保護者会の皆様に一言ご挨拶申し上げます。東日本大震災によるその後の我が国の社会情勢や経済はまだまだ厳しく、かつ不透明な状況にあります。このような社会であればこそ、個人の実社会への適応力や、自ら考え行動する実践力、また企業のニーズに沿う資格がより有利になるものかと思います。子供達は、日々専門的な知識や技術の習得に努力を重ねてあります。その為、保護者会として、子供達が社会に巣立つまで何をなすべきなのか模索しながら、力強い眞のサポーターとして推進してまいりたいと思っております。最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、今後共、ご指導ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせて頂きます。

専門学校 18校

【徳島】

専門学校穴吹福祉医療カレッジ
専門学校穴吹デザインビューティカレッジ
専門学校穴吹情報公務員カレッジ

【高松】

専門学校穴吹コンピュータカレッジ
専門学校穴吹ビジネスカレッジ
専門学校穴吹デザインカレッジ
専門学校穴吹ビューティカレッジ

穴吹カレッジグループ

専門学校穴吹工科カレッジ

専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ

専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ

専門学校穴吹動物看護カレッジ

専門学校穴吹医療カレッジ

【福山】

穴吹情報デザイン専門学校

穴吹医療福祉専門学校

穴吹動物専門学校

穴吹ビューティ専門学校

穴吹調理製菓専門学校

【広島】

穴吹デザイン専門学校

関連会社・部門

◇穴吹キャリアアップスクール

社会人教育、各種資格取得講座

◇穴吹進学ゼミナール

進学塾

◇徳島穴吹カレッジサービス

ソフト開発、講師派遣

◇徳島穴吹職業紹介センター

就職サポート

◇穴吹テレコム株式会社(高松市)

ソフト開発・販売

◇高松高等学院(高松市)

高校卒業資格サポート

平成23年度卒業証書授与式

平成24年3月6日、吹く風にも日増しに春の息吹が感じられる良き日に、第26回となる卒業証書授与式がホテルクレメント徳島にて挙行されました。めでたく卒業式を迎えた183名の学生達は、これからそれぞれの道での新たな出発に、希望にあふれた晴れやかな笑顔を見せていました。吉田校長先生からの励ましの言葉、またご来賓の徳島新聞社 佐野和史様からのあたなかいご祝辞をいただき、卒業生一同は晴れやかな中にも、からの社会人として厳しい現実に心を引き締めていたように感じました。

今回の卒業生183名を含め、昭和61年開校以来の卒業生累計人数は6,478名を数え、徳島県内のあらゆる業界において、穴吹カレッジの先輩達が活躍しています。あらためて卒業生のみなさんに『卒業おめでとうございます』の言葉をお送りすると共に、各界で活躍する先輩達に続き、社会人としてりっぱに力強く生きていかれる事を心よりお祈り致します。

第2回穴吹ビューティスタジアム

第2回穴吹ビューティスタジアムが昨年12月18日（日）、高松市の穴吹ビューティカレッジ・穴吹医療カレッジ両校にて開催されました。

穴吹ビューティスタジアムは中・四国穴吹4校の美容・ビューティ系学生が一堂に集い、日頃学んだ専門技術を10部門で競う技術大会です。今年は総勢250名の参加となり、当校からは約50名が出場し全力で各競技に臨みました。

今回のテーマは「スマイル」です。テーマのとおりあちらこちらの会場で笑顔があふれています。

普段他人から見られる中で実技をすることがほとんどない学生達ですが、応援者がたくさんいる中で実技を行うことに緊張しつつも頑張っている様子が伝わってきました。メイクやヘアスタイル・ネイルでは個性にあふれた素敵な作品がたくさんありました。

健闘の結果、徳島校からは下記入賞者を出すことができました。

ワインディング部門	優勝	美容学科2年 仁木亜依里さん
	敢闘賞	美容学科2年 高木 陵さん
国家試験カット部門	3位	美容学科2年 桑平 真帆さん
フリーカット部門	準優勝	美容学科1年 吉田真由美さん
	3位	美容学科1年 多田 朱音さん
ヘア&メイク部門（フォト）	準優勝	
	ビューティコーディネート学科2年 桶谷 伊世さん	
	3位	
	ビューティコーディネート学科2年 西山あゆりさん	
ネイル・ケアカラー部門	優秀賞	
	ビューティコーディネート学科2年 坂尾 有香さん	
トータルファッション（フォト）部門	敢闘賞	
	ビューティコーディネート学科1年 長池あかねさん	
	竹内沙也加さん	
	板東 悠さん	
	モデル 小川奈都実さん	

平成24年度は12月16日（日曜日）に同じ場所にて行います。ぜひ、学生たちの一生懸命な姿を見にきてください。

優秀生海外研修

穴吹学園では、毎年成績優秀で他の学生の模範となる学生を選抜し、海外姉妹校との交流プログラムを行う「優秀生海外研修」を実施しております。平成23年度は、徳島校から4名、穴吹学園全体で16名の学生が、平成23年12月5日（月）から9日（金）までの5日間、台湾において研修を行いました。

各校より参加した学生は関西空港に集合し空路台湾へ、台湾の桃園国際空港に着くと、姉妹校となっている忠信学校の学生から全校生徒による熱烈歓迎を受けました。忠信学校の学生と交流会を開催され、夜遅くまでそれぞれの文化を語りあいました。翌日、高速鉄道（台湾の新幹線）に乗って、高雄へ移動し、中山高級工商職業学校の学生と交流会が催され、餃子づくりに挑戦しました。交流会では、日本の文化や台湾の文化の違いを話したり、一緒に踊ったりしながら楽しいひとときを過ごしました。また1晩だけのホームステイを経験し、観光では体験できない、普段着の台湾を垣間見ることができたと思います。

今回の研修を通じて、海外姉妹校との交流の他、高松・福山・広島校の学生とも交友関係が広がりました。参加した学生達がこの海外研修の体験を生かし、国際的な視野を持ち、将来活躍してくれることを期待しています。

2012デザイン展



穴吹学園で在学中に学んだ知識と技術を発表する『2012デザイン展』が2月10日から、とくぎんトモニプラザにて開催されました。2年間の学習の集大成である卒業制作や、各種コンテストの入賞作品などを一堂に揃え、学生が自ら設営や運営をおこない、多数のご来場をいただき、3日間の日程を終えました。

平成11年度から徳島校で開催しているこの催しも、今回で13年目となりました。開始当時は、その名称も『穴吹カレッジの学生ホール』と称して学生諸君に自由な表現の場を与え、学生の友人や知人をはじめ、一般の方々にも気兼ねなく学習の成果をご覧いただける場を、校外のギャラリーに企画したのが始まりでした。

年をかさねてゆくたびに出展数やそのジャンルも増え、とくぎんトモニプラザに会場を移した今回も、ビューティコーディネート学科、ブライダル・ホテル学科、ストアビジネス学科、グラフィックデザイン学科、美容学科、パティシエ・ベーカリー学科の6学科から、約250点余りの作品が出展され会場を埋め尽くしました。卒業制作を中心としたファッショングやプロダクトデザインなどの作品に加え、教員・講師作品コーナーも併設され、また来場者に対しては、オリジナルのミニベアーやラッピングスイーツのプレゼント、塗り絵コーナーやハンドマッサージ、そしてスキャルプマッサージなど、各学科の特徴を活かしたコーナーを設置し迎えました。2年生は最後の思い出でもあり、1年生にとっては上級生の作品を学ぶ良い機会になりました。

日頃よりご指導を賜り、デザイン展の開催にご理解をくださった皆さま、そしてご来場くださった皆さまと関係各位に心より御礼申し上げます。



第25回 学園祭

平成23年12月17日(土)・18日(日)の両日に渡り、学園祭を開催、今回のテーマは『ANABUKI COLLEGE FESTIVAL 2011穴カレ祭～みんなで完全燃焼～』でした。

学園祭実行委員会メンバーが話し合い、決定されたのがこのテーマです。たくさんの皆さんに参加でき、楽しく笑顔があふれる学園祭を目指し、みんなの想い出に残る学園祭にしたいという思いから、このテーマが選ばされました。

今回の穴カレ祭も、例年以上にさまざまなイベントが実施されました。学園祭実行委員会主催イベントとして『KARA♪KARA♪カラオケバトル』・『ビンラムネ早飲み大会』・『変装した怪盗を探せ～隠されたお宝～』『強者を求む！ゲームバト

ル』・『うまい棒早食い大会』など、斬新なイベントが実施されました。実行委員会メンバーが夜遅くまで準備にかかり、そのかいあって例年にはない盛りあがりとなりました。またお笑いライブはプロダクション人力舎所属のお笑いコンビで2010キングオブコント優勝者キングオブコメディさんによる楽しいライブが繰り広げられました。そしてキングオブコメディさんの好意で、次の『ビンゴの王子様』にも参加してもらいました。

その他、美容学科が企画・運営する『美容技術コンテスト』、デジタルクリエイト学科の「卒業制作作品展」などが実施されました。穴吹福祉医療カレッジは「第6回保育福祉まつり」を実施し、小さい子供たちと本校学生とが楽しくふれあう場を作ることができました。

日頃は各学科でそれぞれの目標に向かって勉強している学生ですが、学園祭を成功させるために学科の枠を越え、一つのイベントの企画・運営に参加し頑張ったことで、実行委員会が目指した楽しく笑顔があふれる熱気いっぱいの学園祭が実施できたものを感じています。

美容師国家試験全員合格！

美容学科の学生にとって2年間の集大成である美容師国家試験の結果が3月30日に発表されました。美容学科第8期生22名は2月6日～10日に大阪府で実技試験を、3月4日に兵庫県で筆記試験を受験してきました。実技試験の1か月以上前から、授業中はもちろんのこと早朝や放課後の練習でも、目の色を変え、絶対に合格するという強い気持ちが全員に表れていました。今回の課題はオールウェーブでしたが、全国的に見ると苦手な学生も多く、合格率が低くなる傾向にあります。そうした中でも本校の学生は採点ポイントを十分に理解し、いかに減点を減らすかをテーマに繰り返し練習をしました。また、カッティングにおいても、長さを間違えないことや、全体のつながり、バランスなどを意識し、合格点が取れるように努力しました。そして、実技試験が終わるとすぐに筆記試験の対策です。問題集を繰り返し解いたり、お互いに教えあったり、放課後に残って補講をしたりと、人生で1番といつても過言ではないぐらい勉強に明け暮れることで、少しずつ自信をつけていきました。全ての試験が終わった後のみんなの安堵の表情を忘ることはできません。

そして迎えた合格発表の日、ドキドキしながら一人ずつの合否を確認。見事、全員合格することができました。8期生のみなさん、本当におめでとうございます。

美容学科では卒業間際まで対策授業や国家試験があり、本当に大変な2年間を過ごしたと思います。しかし、厳しい練習と勉強を乗り越えたという自信を持って、これからも努力を惜しまず、素敵な美容師になれるように頑張っていってもらいたいと思います。

特 別 寄 稿

『親学(おやがく)』のすすめ

全国経理教育協会副理事長 浦山学園理事長 浦山 哲郎

今、何故『親学』が必要なのか？一言で言えば、子ども、親、先生が変わってしまったと思うからです。

日本の子ども達と他国の子ども達との比較（アメリカ、中国、韓国、トルコと日本との比較）を長年に亘って調査、研究を行っている中里至正（なかざとよしまさ）氏東洋大学教授は、「日本の若者の弱点」「日本の親の弱点」の著書で次のように言っています。

『1970年頃から非行の抑制要因（心のブレーキ）に関する研究を続けているが、非行を抑制するであろうと考えられる、自制心（我慢すること）・思いやり意識（他人の気持ちがわかること）・恥意識・その形成と深くかかわっている親子関係の良否などが、子どもの側に十分に形成されれば、非行を思いとどまらせる役割を果たすだろうと考えている。特に、80年の半ば頃までは、日本の子ども達はかなり強い自制心と思いやり行動を示していた。しかし、1987年（昭和62年）になって、子ども達の思いやり行動の生起率が急変した。そして、次のような言動が他国と比べて日本だけの特徴となっていました。第一は、非行・飲酒・喫煙・性的関係などを悪いことではないという態度をとる。第二には、道徳意識の低下・自分勝手に振舞う・先生の言うことを聞かない・親の言うことを聞かない・約束を破る。第三に、望ましくない価値観をもつ・自己中心的・金銭志向・人生は努力より運・将来のことよりも樂しければよい。第四に、思いやり意識が低い・老人に席をゆずる・山で大切な水を分ける・休日にボランティアをするなどの意識が極めて低い、などである。国際比較で見た日本の子ども達の現状は、我々が予想していた以上に思わしくなかった。そして残念ながら、この10年の間、改善の兆しが認められていない。我が國の将来を考えた時、現在の「経済危機」よりも、「心の混迷」をより深刻に受け止めている。問題は、なぜ我が国に非行抑制原因の脆弱化現象がおきたのであろうか、ということである。その理由を我々は、日本の親子関係に求めた。どう考えても、日本の親子関係がおかしい。そして、その「おかしさ」が、日本の子ども達の「荒れ」と密接に関係しているに違いないと考えている。

一方、「学校崩壊」の著者、河上亮一氏は次のように言っています。

『10年ほど前から、「子どもの自由・人権を第一に考えろ」と、学校のあらゆる活動がたたかれ始めた。「押しつけ、強制はまずい、自由にさせておけば子どもは自然に育つ」という考え方方が強まってきた。文部省も平成元年からの教育改革のなかで「教授から援助へ。やる気を重視せよ。叱るよりもほめよ」と現場を指導し始めた。この十年、学校は全体として、自由・放任の方向に動いている。生徒のあいだには、好きなことは何をやってもいい、いやなことはやらなくてもいい、という雰囲気が広がっている。いじめもなかなか押さえがきかなくなってしまった。最近では、校内暴力も再び激しくなりつつある。一方、教師のなかにもものわかりのよい教師がふえている。「生徒を

東京ゲームショウ2011

平成23年9月15日(木)～18日(日)の間、千葉県の幕張メッセで東京ゲームショウ2011が開催され、22万人を上回る多くの入場者がゲームの祭典を楽しみました。穴吹学園では平成19年より連続出展しており、学内コンペを通過した作品を会場に展示しております。今回の穴吹学園ブースへの来場者は4日間で700名を超えて多く方々に学生作品をプレイしていただくことができ、展示したゲームやパネル・ポートフォリオについても、様々なご意見を頂戴することができます。



きました。出展した学生は、安定したプログラムを作らなくてはならない責任感と、見ず知らずの人にも楽しんでもらえたという充実感があり、さらに良いものを作ろうというモチベーションアップに繋がったとの声が聞かれました。

抑えるのはまずい。生徒の言い分をよく聞いて納得させることが大切だ。悩みをよく聞いてカウンセリングマインドで生徒に対さなければならない」という考え方方が広まっている。反対に「基礎的学力、生活の仕方、人間関係のつくり方、やっていいことと悪いことなどは生徒がいやがっても押し付けなければいけない」という考え方方はどんどん後退している。生徒に“やさしい”学校に変わりつつあるのだ』

全国の専門学校（100校）を対象に、「現在困っていること、抱えている問題・課題」を自由に記述してもらったアンケート（2007年実施）結果を見せてもらいました。

- ・目的意識の欠如（無気力）の学生への対応
- ・学力格差が年々開きつつある
- ・学力低下で資格取得が難しい学生への対応
- ・精神的障害（心の病）のある学生の増加への対応
- ・コミュニケーション能力不足の学生への対応
- ・モラルの低下への対応
- ・学生と保護者、特に保護者への接し方に関するトラブルへの対応

など、いわゆる「ガラスのこころをもった学生の増加—もろくなった学生の増加」にほとんどの学校が課題として、いろいろと対応を迫られていることを改めて感じました。これは、その温度差はあるとしても、短期大学・4年制大学にも言えることだと思います。

『日本の子ども達が示した「心のブレーキ」は、どの点を比較しても、他国の若者に比べてはるかに弱かった。どうして日本の若者の「心のブレーキ」がそんなに脆弱なのだろうか。当然のことながら、この種のブレーキは、遺伝的にもって生まれるものではなく、生まれてから後に、誰かに教えられて成立するものである。とすれば、日本の子ども達は、他国の子ども達と比べて、「心のブレーキの教育」をあまり受けていないということになる。誰がこの教育の「第一責任者」なのであろうか。「それは親である」と言う答えが自然であろうと思われる』と、中里氏は家庭教育の重要性を強調しています。

自制心（我慢すること）や思いやり意識（他人の気持ちがわかること）は、世界から羨まれるほどに尊敬される日本人の生き方でした。伝統や文化は、意識的に伝承しようとしない限り、永遠に受け継ぎ、続けることは困難です。「家庭の教えで芽を出し、学校教育で花が咲き、社会の教えで実がなる」これは、会津藩の家庭心得のひとつだったそうですが、学校が親や家庭に働きかけていたそうです。こんな教えがこの日本に無数にあるほど、日本の歴史は生き方の手本だと感じています。生き方の手本にはとてもなれない、と受け取ることは多いと思います。教職員はそれを案内するためにも、自分が不完全であることを知り、子ども達とともに学ぶ姿勢で臨めばいいと思います。

少子化、核家族化や価値観の多様化、女性の社会進出など子育てや親と子を取り巻く状況は大きく変化しています。『親学』には「親としての学び」と「親になるための学び」の二つの意味が含まれています。子育ては親育て（育児＝育自）といいます。『親学』では、自らを育てる、即ち『主体変容』を目指しています。

■ こども・社会福祉学科

報穴吹福祉医療カレッジ

おぎやっと21に参加！

学生達が「おぎやっと21」に、はぐくみメイトとしてボランティア参加しました。「おぎやっと21」は毎年ゴールデンウィークに開催される大イベントです。今年は2日間で約11,000人が来場されました。初日は9時45分の開場からたくさんの方が来場され、オープニングセレモニーには舞台前は大勢の人でいっぱいになっていました。学生のテンションも上がり、子どもたちに声をかけ、ブース内で子どもたちと楽しそうにおもちゃ作りをしている姿をみるとことができました。普段の学校生活では見たことのないキラキラした笑顔でした。1年生はじめのことでの戸惑いも多かったと思います。しかし、先輩からいろいろなことを教えてもらひながら活動していくと、すこしずつ子どもたちとの関わり方もスムーズになってきたように思います。



毎年恒例のステージでの演目は「ピーターパン」でした。3月から準備に取り掛かり、約2か月の間、配役・台本・大道具・小道具・衣装、すべて学生たちが考え製作しました。4月には新入生も加わり、全員で力を合わせ、目標に向かい頑張ってきました。

本番では今までにないステージになり、大成功でした。真剣に見ている子どもも、前のめりになっている子どもも、いろいろな子どもの姿を見ることができ、子どもたちや保護者の方からも「うわあ」「すごい」という言葉を聞くことができました。配役もバッチリ、はまり役でした。子どもたち・学生達みんなの笑顔を見ることができ、本当によい経験をすることができました。

学生一人ひとりが自信をもち、楽しいものにしようという気持ちが成功につながったと思います。これからもさまざまな経験をし、それぞれの力になるよう、がんばっていきます。

■ 医療事務学科

報穴吹福祉医療カレッジ



田中瑠璃さん 田中めぐみさん 竹内みづほさん 笠井 京さん

新年度を迎え、学生たちは就職活動に取り組んでいます。すでに内定をいただいた学生もあり、今後も積極的に活動をすすめるとともに、さらに上位の資格取得を目指しています。

<内定学生の就職活動>

私は入学当初から産婦人科で働くことが夢でした。2月に行われた就職合宿、面接指導のおかげもあり、念願の産婦人科での内定をいただくことができました。現在は内定先でアルバイトをしており、慣れないこともたくさんありますが、やりがいを感じています。早く仕事を覚え、職場の先輩方のように誰からも頼られる医療事務員として活躍したいと思います。
(田中 瑠璃)

私は2月に内定をいただきました。時期が早く、十分な練習もできなかったのですが、直前の就職合宿で先生方からいたいたアドバイスを参考に笑顔を心がけて面接に挑みました。就職部の先生方からも熱心にサポートしてもらい自信もつきました。今後は学校で学んだことを活かし、一日でも早く仕事を覚えていきたいです。
(田中めぐみ)

1年生の時から就職活動の準備をすすめ、就職合宿やセミナーなどの経験を活かし、内定をいただくことができました。面接試験前に就職部の先生からアドバイスをいただき、対策を行ったことが結果につながったと思っています。今後はさらに皆勤賞、医事業務管理士という高い目標に向かって、充実した学校生活を過ごせるよう頑張っていきたいと思っています。
(竹内みづほ)

1年生の頃から就職活動に力を入れ、コミュニケーション能力を養う面接練習、情報収集に努めました。先生方の厚いサポートもあり今回無事内定をいただくことができました。実際に働く中で医療事務員としての技術や姿勢を身につけられるよう、一つ一つの経験を大切にしていきたいと思います。今後も日々の勉学に意欲的に取り組みます。
(笠井 京)

■ 歯科衛生士学科

報穴吹福祉医療カレッジ

石川先生特別講義

歯科衛生士学科顧問の石川烈先生の特別講義が今年2月に行われました。石川先生は東京医科歯科大学を退官後、東京女子医科大学・先端生命医科学研究所で招待教授として歯周病の研究をされています。まだ歯周病治療を重要としている頃から、この研究に取り組み、WHO専門委員として日本の歯周病の実態を報告するなど世界的な活躍をされています。このような著明な先生から特別講義を受けられることは、学生たちにとって大変すばらしいことだと思います。



石川烈先生

今回の講義では、歯周病の治療法の移り変わりや、最先端の再生医療について学びました。再生医療は医師が行う治療ですが、介助や治療後のメインテナンスを管理するのは歯科衛生士です。初期の歯周病であれば歯科衛生士が治療できる範囲ともいえます。歯周病は、歯を失うだけでなく進行すると動脈硬化など全身疾患にも関わるおそろしい病気です。学生たちは改めて歯科衛生士の役割や、自分たちができるを考えることができたのではないかと思います。

また石川先生は長年の臨床経験を経て、患者様に携わる中で大切なものがあることを教えてくださいました。それは「仁」や「徳」であり、誰に対しても隔たりのない思いやり、精神の修養によって得られる品性の大切さなどでした。今回の講義では、知識だけではなく、医療人としての内面についても学ぶことができたのではないかと思います。これからも歯科衛生士学科では、知識だけでなく人間性豊かな人格が育つようにサポートしていきたいと思います。

■ 医療情報管理学科

報穴吹福祉医療カレッジ

3年生は、昨年の11月に行われた日本医療教育財団主催 医事業務管理士審査試験で83%という合格率を達成しました。(全国平均で合格率35%程度)

在学3年間で受験する医療系検定の中でも1, 2を争うほど難しい検定だけに、学生たちも大喜びでした。クラスメイトと励まし助け合いながら日々積み重ねてきた学習の結果だと思います。努力は報われるということを身を以て経験してくれたのではないかと思います。しかしながら達成すべき目標はまだまだあります。9月にはメディカルレコードコーディネーター、1月にはドクターズクラークの検定と、主要な検定がいくつも控えており、まだまだ気が抜けません。これからもなお一層勉学に励んでほしいと思います。

3年次になり、電子カルテの操作方法を学び始めました。現在、医療機関では規模にかかわらず、電子カルテを導入しコンピュータで患者さまの診療情報を管理しているところが増えてきています。将来的には、すべての医療機関が電子カルテを導入することになる可能性もあります。これから医療機関で仕事をする者には必要不可欠となる学習です。

今年2月、就職合宿が終わり就職活動も本格化してきました。会社説明会、訪問、就職セミナーへの参加など、各々が目指すものを胸に日々活動をしています。頑張れば必ず結果は残せるという検定取得の時の自信を忘れずに果敢にチャレンジして内定をつかみ取って欲しいと思います。

■ ブライダル・ホテル学科

報穴吹デザインビューティカレッジ

オリジナルウェディングを行いました！

1月29日(日)、11階ビューホールにてオリジナルウェディングを行いました。当日は、県外からもたくさんのご親族やご友人の参列があり、心あたたまる笑顔いっぱいの結婚式・披露宴となりました。

ブライダル・ホテル学科の2年間の集大成である“オリジナルウェディング”。このイベントは、事情によって結婚式や披露宴をしていない既婚カップルの方々にブライダル・ホテル学科2年生が、企画・演出全てを手掛け、お二人のためにオリジナルの結婚式や披露宴を開催するというものです。

昨年9月に新郎新婦の公募を始め、会場装飾や司会、イベント内容、サプライズ、音響、お料理…。新郎新婦様にもゲストの方々にも“心に残る笑顔いっぱいの結婚式・披露宴にしたい”、クラスの皆は気持ちを一つにして気を引き締め、細かい配慮や工夫は、何度もみんなで話し合い、心に残る演出を心掛けました。結婚式や披露宴では、ゲストの方にも参加してもらえる楽しい企画内容やサプライズ。新郎新婦様がお色直しの際には、ゲスト一人ひとりが楽しんでもらえるような、メッセージを録画したムービーを上映し、工夫を重ねました。

学生が中心となり進めていくなかで、初めて経験することも多く、戸惑いや不安もあったようです。しかし、皆で意見を出し工夫を重ねた結果、ご夫妻のご協力のもと、ご希望にそえるような素敵なオリジナルウェディングを行うことができました。学生たちにとって何よりも嬉しく心に残っているのは、やはり「ありがとう」・「楽しかった」の言葉。今回、多くのことを経験したと思います。一つのことをやり遂げる喜び、感動を忘れず、社会人となり「人を幸せにする喜び」を忘れず、それぞれの業界で活躍してほしいと願っています。



■ グラフィックデザイン学科

報 穴吹デザインビューティカレッジ

産学連携による実践的なデザイン

昨年度の産学連携による、実用化されたデザインとコンペ入賞実績を紹介します。

まず、FM徳島ステッカーのグランプリ受賞を皮切りに、日乃出本店様のぶどう饅頭ストラップの商品実用化は大きな話題となりました。また、前年に続き、日本郵便事業株式会社様との連携企画2012年タウンメール年賀状では、計4企業の図案に6名のデザインが採用され、地域の皆様のお正月に華を添えました。2月には阿南市の神田歯科医院様のイメージキャラクター図案が採用となり、ノベルティーだけでなく、POPや看板など院内の雰囲気作りにデザインで貢献する空間プロデュースも体験できることは良い経験となったはずです。また、徳島市福島町にある、もとしろ保育園様ではこの4月から郵便封筒のデザインを一新することとなり、可愛い園児と先生を模したデザインが封筒に採用されました。

春の新しいシーズンを迎える、県西部の三好市東祖谷小学校が開校したことは記憶に新しいと思います。昨年の校章デザイン公募コンペで最優秀賞を受賞、実際に小学校の校章に採用となった岩野敬太さん（卒）には、4月2日の開校式で校章のお披露目があった吉報が、内定先の入社式の同日に届き、たくさんの地元特産物が副賞として授与されました。

本校1階に展示していた5年前の学生の卒業制作作品は、動物を模ったとくしま動物園の看板で、この春からとくしま動物園センター舎内に展示していただくことが決定しました。

グラフィックデザイン学科ではこのように、地元企業様や産業界各位のご協力もいただき、より実践的なデザイン制作に取り組んでいます。

■ 美容学科

報 穴吹デザインビューティカレッジ

コンテストで多数入賞！

平成23年度も、たくさんのコンテストに入賞者を出すことができました。中でも、昨年11月に東京で開催された第16回全国学生技術コンテストで入賞できたことは、大変素晴らしい結果です。このコンテストは全国の美容学校から各部門3名ずつしかエントリーできず、学校を代表した精鋭部隊がエントリーしていく大変レベルの高いコンテストです。今回入賞した吉原さんは1年生の時にも同じ大会で入賞しており、2年連続での受賞という快挙を成し遂げてくれました。また、9月に愛媛県松山市で行われた四国地区のコンテストでも準優勝・第3位など多数の入賞者を輩出し、全国理容美容学生技術大会においても3年連続で全国大会に出場するなど素晴らしい成績を残すことができました。この結果に満足することなく、平成24年度も引き続き、技術向上に力を入れ、昨年以上の結果が残せるように頑張っていきたいと思います。

平成23年度の入賞者は次の通りです。

●第16回全国学生技術コンテスト ワインディング2年生部門

○優秀賞（全国8位） 吉原 理佐さん

●E4 Beauty Awards2011

ワインディングスクール部門

○準優勝 吉原 理佐さん

○第3位 桑平 真帆さん

○敢闘賞 山下 美香さん 杉野 歩実さん 仁木亜依里さん

○努力賞 高木 陵くん 太田 侑さん 谷内 沙代さん

●第3回全国理容美容学生技術大会 四国地区大会 ワインディング部門

○優秀賞（全国大会出場） 桑平 真帆さん 杉野 歩実さん、吉原 理佐さん



神田歯科医院の
イメージキャラクター



もとしろ保育園封筒デザイン
(南 佑果 さん)

育園様ではこの4月から郵便封筒のデザインを一新することとなり、可愛い園児と先生を模したデザインが封筒に採用されました。

春の新しいシーズンを迎える、県西部の三好市東祖谷小学校が開校したことは記憶に新しいと思いま

す。昨年の校章デザイン公募コンペで最優秀賞を受賞、実際に小学校の校章に採用となった岩野敬太さん（卒）には、4月2日の開校式で校章のお披露目があった吉報が、内定先の入社式の同日に届き、たくさんの地元特産物が副賞として授与されました。

本校1階に展示していた5年前の学生の卒業制作作品は、動物を模ったとくしま動物園の看板で、この春からとくしま動物園センター舎内に展示していただくことが決定しました。

グラフィックデザイン学科ではこのように、地元企業様や産業界各位のご協力もいただき、より実践的なデザイン制作に取り組んでいます。

徳島動物園展示
(安部美鈴 さん)

■ ビューティコーディネート学科

報 穴吹デザインビューティカレッジ

ビューティ・ライブ開催！

<写真は昨年のものです>



テーマ「BORN THIS WAY」



■ ストアビジネス学科

報 穴吹デザインビューティカレッジ

“校舎1Fエントランス”は私たちの表現の場！

当学科の学生たちは、校舎のロビーを「表現の場」として活かしています。

将来、ファッションビジネスの最前線で仕事をするためには、接客、販売のプロとして、店舗運営から着こなし方の助言まで、幅広い知識と技術が求められます。

1年次より、販売促進や仕入、店舗の仕組みなど、基本的な知識について様々なことを学びますが、2年次では、さらに店全体をコーディネートする指令塔的存在になれるよう、お客様の好みに合わせたアイテム研究や店舗経営の計画、商品展示など、売上につながるような“表現力”を身につけていくようになります。

昨年末より、コーディネート実習の授業では、ディスプレイをより多くの学生や来場者にみてもらえるよう、教室展示していたものを校舎1Fエントランスに移動し、週替わりで作品展示をするようになりました。毎回2名が1組となり、最新の売れ筋アイテムの分析・流行色を取り入れた組み合わせを徹底研究。常にファッションアドバイザーを意識し、季節感を出しながら「いつ、だれが、どこで」とターゲットを絞り、魅力的なディスプレイ作品となるよう、何度も思考錯誤を重ねながら実践力を磨いています。

ロビーを売り場の空間と見立て、沢山の人に注目してもらうことで、意識が高まりモチベーションも上がっています。また、今までのロビーのイメージが明るく動きある楽しい空間となり、季節の移り変わりを表現することで、エントランスにも変化が感じられるようになりました。

<作品1>辻将太さん、鎌田梓さん…チェックシャツで合わせ、カジュアル系にコーデ。遊園地でデートをイメージ。

<作品2>小磯真貴さん、中川舞那さん…春コーデをあえてモノトーンにし、大人の雰囲気をイメージ。赤をプラスすることで、レトロな感じを演出。

<作品3>多賀大起さん、松本恵理さん…初夏の涼しさとアクティブな雰囲気をイメージ。メンズは元気カラーを使用。

■ パティシエ・ベーカリー学科

報 穴吹デザインビューティカレッジ

幸せのお手伝い♥

プライダルホテル学科の学生がオリジナルウェディングを実施しましたが、その際に当学科の学生たちも幸せのお手伝いをさせていただきました。新郎新婦様のご希望を聞き、ウェディングケーキを作成しました。試作を繰り返し、大きなケーキに日本地図を描き、お二人の出身地には♥マークをつけた素敵なお手伝いをさせてもらいました。これからも「自分たちの作ったケーキで幸せになって欲しい。お客様の笑顔が見たい。」という気持ちを忘れずに、パティシエとしての夢のため、日々お菓子作りに励んでいきます。



フランスパティシエ研修★

当学科では、希望者を対象に春休みにフランス（パリ）にて海外研修を行っています。有名洋菓子店でのショコラート作り体験や道具屋の訪問、製菓学校での体験授業などたくさんの経験をしてきました。

製菓実習では、フランス人シェフから教えていただき、多くの新しい知識を習得することができました。残りの学生生活では、洋菓子、和菓子、パンとたくさんの技術を身につけたいと思います。



■ 情報システム学科

報穴吹情報公務員カレッジ

NSC2012Springに出場

今年3月3日(土)、当学科から2名(3年:宮根理沙さん、2年:天野博紀さん)がNetwork Skills Competition 2012 Spring(以下NSC)に出場しました。

NSCは、コンピュータ・ネットワークに関する全般的な技術を競う、主に学生を対象としたネットワーク技術コンペティションです。実際の現場で使われている機材を用いて専用ネットワーク(NSCnet)を用意し、NSCnetの運用・管理・提案を行い、その技術力を競います。

今回、初めて競技に参加したということもあり緊張の連続でしたが、懇親会を含め、たくさんの方とコミュニケーションをとることができ貴重な経験となりました。次回大会では入賞できるように学生達をサポートしていきます。(引率:榎本、平坂)

※会場: ECCコンピュータ専門学校

※HP: <http://www.skills-competition.net/2012spring/>



NSC2012

INTEROP TOKYO2012見学・東京企業訪問

当学科では社会見聞・コミュニケーション能力向上を目的とした課外活動の一環として、INTEROP TOKYO2012(※1)の見学及び東京の企業訪問(※2)を6月14日(木)、15日(金)の2日間で実施します。INTEROP TOKYOでは最新の機器に触れ、企業訪問では現在IT職では人材不足とされているシステム管理の現場体験をする予定です。学生たちには、新しい経験の中で専門性や職業に対する興味を高めてもらえばと思います。



INTEROP TOKYO2011

※1 INTEROP TOKYOは最先端の情報通信関連の専門イベントとして開催され、最新の機器、技術、サービスが一堂に介するイベントです。
<http://www.interop.jp/2012/>

※2 株式会社日本テクノス訪問予定

■ 公務員学科

報穴吹情報公務員カレッジ

H23年度の公務員試験結果**●H23年度生 公務員1次試験合格率100% (10年連続)****●H23年度生 公務員採用先**

徳島県(学校事務)、国家III種(税務近畿)、徳島市消防吏員、徳島中央広域連合消防職員、阿南市職員(初級行政)、警視庁III類(女性警察官)、神奈川県職員(行政)

～体験記～ 平成23年度卒業生(徳島県学校事務採用)

私の正直な心情を吐露してしまえば、この学校に入学してからも公務員試験を無事合格できる自信がなかったことを覚えています。大学受験の失敗も含めて、今まで何かを成し遂げるという経験がなかったということもその不安に拍車をかけていました。

しかし、本格的に授業が始まり、だんだんと慣れ始めてきた頃にはそのような不安はほとんどなくなっていました。教養においては先生方の全力のサポートのもと、自分なりに毎日目標を決めて少しづつ身につけられる努力ができる環境が整っていたと思います。事務適性や面接などの不慣れな科目においても、試験当日に自信を持てる程までに、自分の能力を最大限引き出せる術を学ぶことができました。

穴吹カレッジでの学校生活は日々自分の成長を感じられ、とても充実感がありました。まさに「日々是前進」を体感できたと思っています。私にとっては、第一志望である学校事務に合格できたことよりも、穴吹カレッジで学んだことで自分に自信を持ったことの方が大きな財産であると考えています。この学校を選んでよかったと思っていますし、共に同じ道を進んだ仲間や支えてくれた先生方との出会いも自分に大きな変化をもたらしてくれたと感じています。

これからは学校事務として、今まで支えてくれた方々に恩返しをするべく、未来を担う子どもたちの学びに貢献したいです。私の仕事で一人でも多くの生徒に学校を楽しいと感じていただけたら、これ以上の喜びはありません。

最後に、穴吹カレッジと先生方に。一年間という短い期間ではありましたが、お世話になりました。

■ 行政ビジネス学科

報穴吹情報公務員カレッジ

15名が1年次で合格**●平成23年度生(1年次)の公務員採用先**

兵庫県警察官(警察官B)、大阪府警察官(警察官B)、刑務官A(中国)、徳島県警察官(警察官B)、国家III種(税務四国)、徳島県職員(警察事務)、徳島市水道局(一般事務)、裁判所事務官III種、鳴門市職員(一般事務)、大阪市職員(学校事務)、徳島県職員(学校事務)

行政ビジネス学科5期生(43名)の内、15名が1年生で公務員試験に合格し、この4月から社会人として頑張っています。

当学科では1年次・2年次の両方で公務員試験を受験できるチャンスがあります。その結果5期生は1年次で15名が公務員試験に合格し、3月15日に修了証書授与式が行われました(写真)。また、進級した学生には、公務員・民間企業を問わず希望する就職先の合格を目指し、教職員が一丸となり今まで以上のサポートをします。当学科においては、2年制学科のメリットを活かして実社会で必要とされるパソコン知識、ビジネスソフトの活用技術、商業簿記やビジネスマナーを幅広く学習し、ビジネスに有用な資格試験にもチャレンジしていきます。

**■ デジタルクリエイト学科**

報穴吹情報公務員カレッジ

新入生と動き出す、春

4月10日の入学式、オリエンテーション、授業の導入部を経て、本格的な授業が始まりました。私はオリエンテーションの中で必ず「自求自足」という言葉を学生に伝えています。造語ではありますが、「自ら」「求めて」「自ら」「足していこう」という意味を持たせています。今年の新入生の中にはすでにこの「自求自足」を実践している学生がいます。

当学科は運営の中で「実力試し」として一般企業や団体が実施するゲーム制作やキャラクターデザインのコンテストへの出品、また雑誌へのイラスト投稿などを実施しています。例年であれば2年生に進級するタイミングから実施し始めているのですが、今年は新入生も対象として指導をおこなっています。今年の新入生の中には入学前のオープンキャンパスに参加した学生も多く、その際、希望者には先行して絵の指導を行っていました。本当に本校に入学するかどうかわからない時期ですが、何枚も絵を持参していました。

今年の5月3日から3日間徳島市にて開催された「マチアソビvol.8」には1年生から2人、ボランティアとして参加しました。前回のvol.7に引き続き今回も4万人を超える来場者となり、ボランティアの学生も非常に忙しかったようです。参加した学生の1人は「クリエイターとして、他人が“楽しめる”イベントの大切さを知ったので、自分のためにもなった」と感想を述べており、今後もこういったイベントに関わって様々な経験を重ねていってほしいと思います。

有名な歌謡曲に「しあわせは歩いてこない。だから歩いてゆくんだね」という歌詞があります。今の自分とは違う自分になりたいと求めて、鍛え、上を目指していく。今年の新入生は例年なく、入学当初(もしくは入学前)から積極的な動きを見せており、今後が楽しみです。

■ 情報ビジネス学科

報穴吹情報公務員カレッジ

就職戦線奮闘記／NO.1

穏やかな春の訪れは卒業年次の学生にとっては「就職」という、避けては通れない人生の節目の訪れでもあります。2年生17名も就職に備えて各自が自分なりに十分に準備をしてきました。それは1年生後期の期末試験が終わると同時に開始されます。就職部との「個別ガイダンス」から就職戦線の幕が開きます。自分の就職に対する心づもりを本番の就職試験に臨む気持ちで真剣に話します。入退室や座席での姿勢、受け答えの内容、言葉遣いと学生にとって最初の企業面接といったところです。そして2月中旬、学校で行われる「就職事前学習」をみっちりと一週間おこない、1泊2日の「就職合宿」が、香川県津田で学校とは違った雰囲気の中で行われます。

就職合宿ではお腹から声を出し、自分の声の限界を打ち破ることで自信と前向きな姿勢が芽生えています。また他学科の学生と一緒にになって話し合った内容をまとめ、全員の前で発表するグループディスカッションも行なわれます。最近では新たな面接のスタイルとして採用する企業も多くなってきています。2日目に終日実施される面接練習では6人の面接官が各1時間特徴的で個々の視点から学生への面接対応についての注意点や面接でのポイントを教えてくれます。

これらの準備を無事に終え、今年度の厳しい就職戦線が始まりました。今年は例年に無く寒い春先でしたが、その寒さをものともせず就職セミナーや企業説明会などに積極的に参加しています。就職に対する意識の強さが目力となり、背筋をピンと伸ばし企業の方の話を真剣に聞きメモを取る姿は1年前に入学した頃の彼らとは違い、一回りも二回りも大きく成長しています。年末には彼らの就職状況について良い結果を報告できればと思っています。

就職部より

平成23年度 就職実績

☆穴吹情報公務員カレッジ(公務員系学科を除く)

(卒業者数)40名 (就職希望者数)38名 (内定者数)38名

☆穴吹福祉医療カレッジ

(卒業者数)43名 (就職希望者数)41名 (内定者数)41名

☆穴吹デザインビューティカレッジ

(卒業者数)71名 (就職希望者数)71名 (内定者数)71名

～平成24年度の就職活動がスタートしました～

就職合宿



就職合宿

2月後半、香川県さぬき市にある「ケアパーク津田」にて1泊2日の就職合宿を行いました。就職活動に向けての総仕上げの場という事もあり、学生達は積極的に各課題に取り組みました。1日目は、発声練習から始まり自己PRやグループディスカッション、そして代表学生による「模擬面接」を行ないました。模擬面接後の勉強会では、学生達それぞれが感じた事を発表し意見交換が活発にされ、先生からも面接マナー等についてのアドバイスがありました。2日目は、前日のアドバイスをもとに、一人ひとりが本番ながらの模擬面接を経験しました。学生達は、様々な形式の6会場を順々にまわり悪戦苦闘しながらも、回を重ねるごとに表情もよくなり、しっかりとPRできるようになりました。

校内合同企業セミナー



校内合同企業セミナー

就職講座

就活生対象に、毎週1回「就職講座」を実施しています。就職部スタッフによる、タイムリーな求人情報のほか、時事問題やマナー等、就職活動に必要な知識を身に付けていきます。また、実際におこったケーススタディをもちいて、「良いケース」「悪いケース」を考え、就職内定の実現に向けトレーニングしていきます。



入学相談室からのお知らせ

「オープンキャンパス」開催！

本校への入学を考えられている方のために、毎月「オープンキャンパス」を開催しています。

※9月以降の日程は、直接お問い合わせください。
また「毎日相談会(要予約)」は随時行っております。
お電話にてお申し込みください。



6月～8月のオープンキャンパス日程

月日	開催時間	備考
6月9日(土)	10:30～	
6月17日(日)	10:30～	保護者説明会同時開催
6月23日(土)	10:30～、14:00～	
7月8日(日)	10:30～	保護者説明会同時開催
7月14日(土)	10:30～	
7月22日(日)	10:30～、14:00～	保護者説明会同時開催
7月29日(日)	10:30～、14:00～	保護者説明会同時開催
8月5日(日)	10:30～、14:00～	
8月6日(月)	10:30～	
8月18日(土)	10:30～	
8月19日(日)	10:30～、14:00～	
8月26日(日)	10:30～、14:00～	保護者説明会同時開催

「在校生・卒業生の親族 入学優遇制度」のご案内

本校に入学される方の親族(4親等以内)が穴吹カレッジグループに在籍している、もしくは卒業している場合、入学金が免除になる制度です。入学者の親族が1・2親等の場合は納入金から10万円免除、3・4親等の場合は納入金から5万円免除となります。申請は出願の際、申込書にご記入いただくのみです。

※2013年度入学生用「学校案内パンフレット」
・「学生募集要項(入学願書)」が必要な方は
本校入学相談室までご連絡ください。

お問い合わせ先

入学相談室

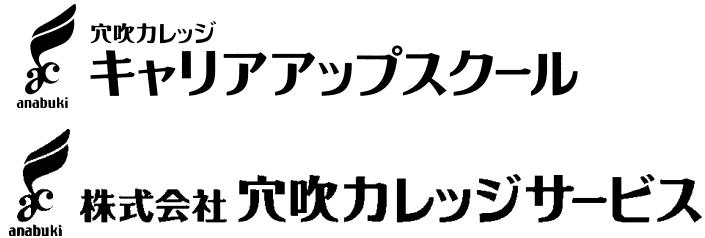
0120-18-3155

穴吹カレッジグループホームページ

<http://www.anabuki.ac.jp>



携帯でQRコードを読み込むと
携帯サイトに移動できます。

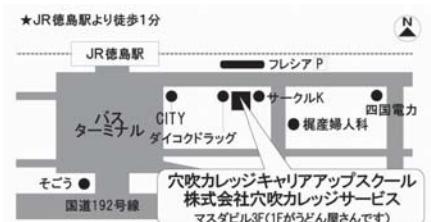


〒770-0832

徳島市寺島本町東3-12-7 マスダビル3F

TEL: 088-653-3172 FAX: 088-626-8347

http://www.anabuki.ac.jp/ E-mail aet@anabuki.ac.jp



公務員を目指す方を応援します！

2011年度公務員講座生 合格実績（延べ人数）

【大卒程度】一次合格者53名

徳島県大卒程度 7名、国家II種 8名、徳島市役所上級13名、阿南市役所上級2名、小松島市役所上級3名、阿波市役所上級2名、東みよし町役場1名、大阪府大卒程度1名、大阪市上級1名、北島町役場1名、上勝町役場1名、岡山県1名、徳島県市町村共済組合1名、大学法人3名、国税専門官1名、吉野川市役所上級1名、兵庫県豊岡市上級1名、高知県高知市病院企業団1名、独立行政法人1名、高松市役所上級1名、丸亀市役所上級1名、神山町役場1名

【高卒程度】国家III種(行政事務・税務)、三好市役所(一般事務)、徳島県警察官B

※2012年3月末日時点での調査にご協力いただいた方の集計値です。

あなたは3秒で
読みますか？



速読とは、文字どおり早く、そして正確に読み取る能力です。飛ばし読みや斜め読みとは違って、内容の理解度や記憶はこれまで通りで、読書速度だけを引き上げます。もし、あなたが速読を身につければ、同じ時間でこれまでの数倍の量の読書や学習ができるようになります。また、仕事においても、大量のメール処理、膨大な資料のまとめなどの文章を扱う場合、同量の作業を数分の1の時間で行うことが可能になります。

企業研修

各企業様のご要望に応じた研修の企画・立案を行っています。

- マナー研修：ビジネスマナー、電話応対、来客応対
- コーチング研修：信頼関係、GROWモデル、目標達成のための行動計画、行動につなげる質問技法
- コミュニケーション研修：自己・他者理解、行動特性、異なるタイプとのかかわり方
- コンピュータ研修：ビジネスソフト活用、インストラクター養成
- デザイン研修：Web、CAD、チラシ作成
- 資格研修：日商簿記3級・2級試験対策、宅地建物取引主任者、社会保険労務士

穴吹学園の 卒業生・在校生への 特典

- 入学金免除
- 受講料30%割引
(通学講座)

※在学中・卒業後のスキルアップにご活用ください。



自習室

資格を取得したい方、受験勉強をしている方に集中できる勉強スペースを提供しております（1日500円）。

※免許証や保険証等のご本人様確認書類をお持ちください。

※講座の運営上ご利用いただけない日もございます。あらかじめご了承ください。



この春多くの合格者を出すことができました。

大学合格実績

【国公立大】 東京大(文I)、広島大(医)、徳島大(医)、大阪大(歯)、大阪大(工)、広島大(教)、筑波大(社会)、大阪市立大(商)、徳島大(歯)、神戸市外大(外)、岡山大(農)、徳島大(医保)、徳島大(医栄)、大阪教育大(教)、兵庫教育大(教)、静岡大(農)、静岡大(人文)、徳島大(工)、愛媛大(法文)、高知大(医看)、高知大(人文)、島根大(総合理工)、香川大(農)、高知県立大(文化) 他

【私立大】 慶應大(法)、慶應大(総政)、早稲田大(政経)、早稲田大(法)、早稲田大(先理)、上智大(経済)、昭和大(医)、東京理科大(理)、津田塾大(学芸)、同志社大(理工)、同志社大(生医)、同志社大(商)、立命館大(経済)、立命館大(理工)、立命館大(産社)、関西学院大(法)、関西学院大(商)、関西学院大(経済)、関西大(商)、関西大(経済)、明治大(政経)、明治大(商)、中央大(生科)、中央大(理工)、東京薬科大他多数

【高校】 徳島市立高校理数科・普通科、文理高校、城東高校、城北高校、城南高校、徳島北高校 他

新規受講生 隨時受付中

専任個別（4～5対1）

抜群の実績を持つ専任講師が直接行う個別指導。要望に合わせて指導にあたります。東大・京大・医学部など難関校合格から苦手克服まで講師主導で成績アップをサポートします。

スタンダード個別（2対1）

特に苦手科目の克服したい方におすすめのコース。大学生・社会人の非常勤講師が担当します。少人数なので、質問もしやすく、自分のペースで学習できます。

クラス授業（中学部 附属中完全対応）

中学部は附属中に完全対応しています。定期テスト・実力テストでの高得点を目指した授業を行ないます。授業は無理のない少人数制。志望高校合格に必要な学力を養います。

東進衛星予備校徳島通町校

大学受験界では超のつく有名講師が直接行う授業を、DVDやインターネットを通して受講できるこのシステムは、難関校を目指す高校生やその保護者のあいだではすでによく知られています。いつでも好きな時間に受講でき、しかも繰り返し何回でも見ることができます。効率よく学習をすすめることができます。



きれいで広いフロアが大好評

広々スペースに整然と並んだ受講ブースは壮観。衛星授業は、ひとりひとりが仕切られたブース内で受講します。電気スタンドも備え付けのブースはオシャレできれい。「やる気が起こる」と受講生たちからも大好評です。

12段階のレベルで細かく対応

初歩から超難関大入試まで細かいステップで実力アップできるシステム。どんなレベルの生徒にも対応できるコースが用意されています。